



北中城村 EMユニバーサルビレッジ視察のご案内

視察日：日曜日から金曜日（土曜日はお休み）

時 間：午前の部（11：00開始）／午後の部（14：00開始）

定 員：2名様から最大25名様（25名様以上は別途お問合せ下さい。）

内 容：現地集合→屋内（又は屋外）にて概要説明→施設見学（屋外含む）→質疑応答

* 視察終了後は自由にお過ごし下さい。

ご案内：① 視察は予約制です。（7日前までにご予約下さい。）

② 建物内（バイオサイクルセンター及びハウス）には視察参加者以外は入場できません。

一般のお客様はビレッジ内には入れますが、屋外のみのお見学となります。

< 料金案内 >

基本料金	¥10,000（税込）/組	申込み1組あたりの基本料金
通常コース（60～90分）	1名様 ¥1,500（税込）/名	ビレッジ全般を幅広くご案内します。
専門コース（120分）	1名様 ¥2,500（税込）/名	通常コースに加えご希望に合わせ、ごみ処理・発電・園芸・EMなど専門的に説明します。

各コースには共通で、専属の案内係・資料・おみやげ（サンプル）、が付きます。

ユニバーサルビレッジとは

ユニバーサルビレッジとは、マサチューセッツ工科大学の（故）正木一郎教授らが国際会議で提唱した「地球環境及び生物多様性の保全と、人類の持続可能な発展を可能とする社会、コミュニティ」を示すもので、世界中の研究者や事業者らの共通認識の名称です。2016年には「農薬や化学肥料に頼らない農業を確立し生物の多様性を保護する。」「海洋汚染やマイクロプラスチックの問題を解決し海の生態系と生物多様性を保護する。」「原子力発電所事故や放射性産業廃棄物による害から生物多様性を保護する。」の3点への取組みが緊急に必要であり、研究や議論だけでなくアクションを起こすことの重要性が唱えられました。私たちはEM（有用微生物群）の開発者である比嘉照夫琉球大学名誉教授からご指導を頂き、アクションを実行するために、沖縄県北中城村でEMユニバーサルビレッジに取り組んでいます。



ご予約・お問合せ先

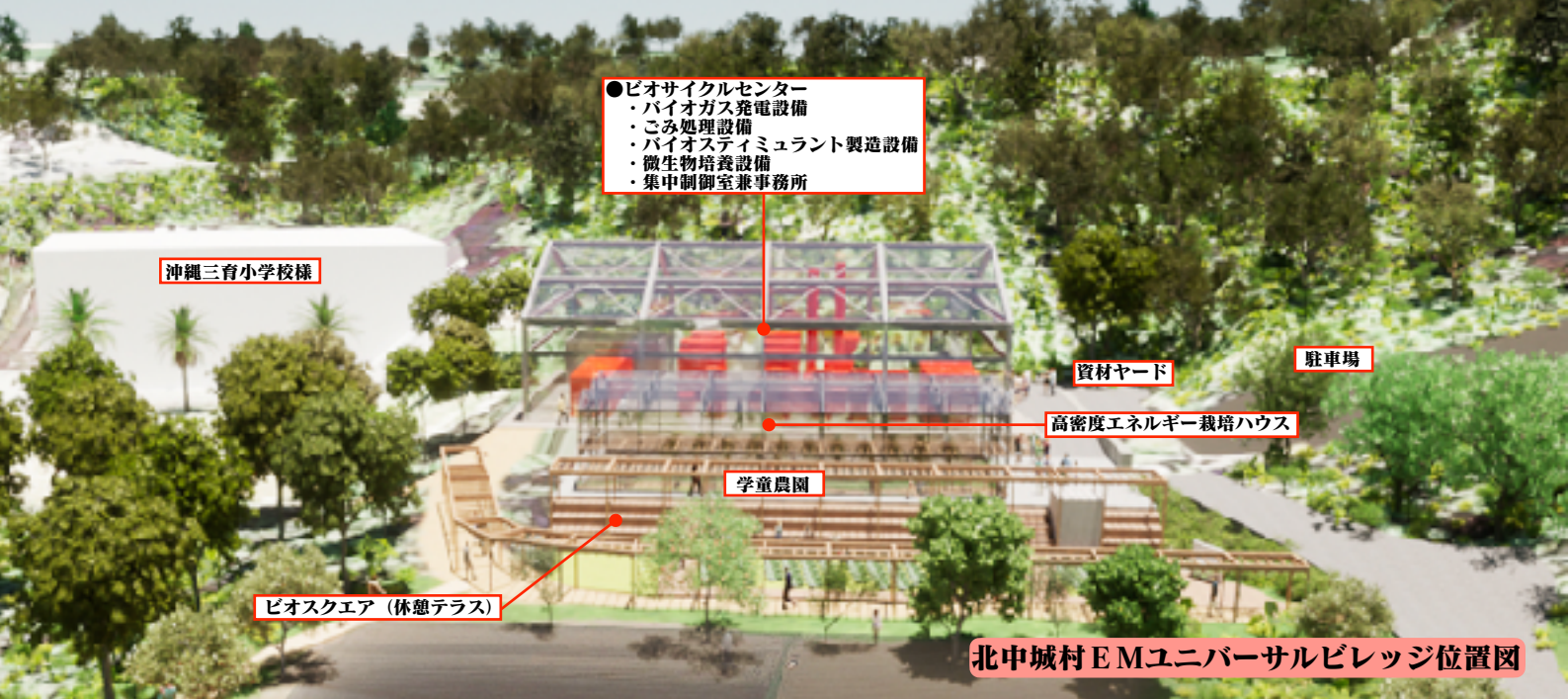
〒901-2315 沖縄県中頭郡北中城村萩道前原256

電話：098-979-6388 FAX：098-979-6399

受付日時：平日9時～17時

地域再生推進法人 株式会社EM研究機構

北中城村EMユニバーサルビレッジ



- バイオサイクルセンター
- ・バイオガス発電設備
- ・ごみ処理設備
- ・バイオスティミュラント製造設備
- ・微生物培養設備
- ・集中制御室兼事務所

北中城村農を活かした健康・福祉の里づくりに向けた推進事業

北中城村EMユニバーサルビレッジは、行政が主体となり”何が起きても負けない農と住の調和ある安全で安心した暮らしのできる村づくり”を推進するための「北中城村農を活かした健康・福祉の里づくり推進事業」の第一段階整備事業の弊社プロジェクト名称です。村事業の基本方針は、①村民自らが中心となり、賑わいのある地域社会と活力に満ちた産業（農業・観光）を持続する。②地域の雇用を生み出しながら、人・もの（食・農・エネルギー）の地産地消を強力に進め実現する。③輝ける北中城村の未来をつくる持続可能なむらづくり・エネルギーインフラ構築を推進するの3つです。事業全体は20万km²を開発する壮大なプロジェクトで、行政と民間企業が連携し確実に実施する為に6段階に事業整備を分割し順次実施する計画で、第一及び第二段階については弊社がすでに事業者承認されており、第三段階では地域の医療法人様と共同で事業を実施する方向で調整が進んでいます。それらを実現すべく、2017年から弊社が村の委員会委員として参加したのが始まりで、その後も委員として参加する一方で事業者として関わる為に、2019年から「地域再生推進法人」の認定に向け準備を進め2020年に沖縄県内で初めて地域再生推進法人に認定されました。それを受け、村実施の第一段階整備事業プロポーザルにエントリーし各種審査に合格し事業者として承認されました。2021年からは事業実施に向け「内閣府沖縄振興特定事業推進補助金」を申請し2022年に交付が決定され2025年の開業に向け工事を開始しました。

整備段階と概要		整備内容 (2022年計画時)
第一段階	農業インフラエリア	バイオガス発・高密度エネルギー栽培ハウス・バイオスティミュラント製造・学童農園
第二段階	地域交流拠点エリア	食品加工施設・農産物直売所・農家カフェ・有機農業展示圃場
第三段階	医療健康増進エリア	医食同源の核となる医療・福祉施設
第四段階	農園園芸エリア	市民農園、福祉農園、滞在型農園及び自己活用農園
第五段階	ツーリズムエリア	グランピング施設などのアウトドアが体験出来る施設
第六段階	住居エリア	優良田園住宅などの暮らしの施設

施設の見どころ

第一段階整備では、「バイオガス発電設備・ごみ処理設備・バイオスティミュラント製造設備・微生物培養設備・集中制御室兼管理事務所」の異なる5つの設備を1つの建物（バイオサイクルセンター：右図）に取めかつ、電力を地産地消する”日本初”の画期的な施設が目玉です。また、発電した電力や製造した堆肥などを活用した高密度エネルギー栽培ハウスでは最先端技術と有機農業を展示圃場として一般公開します。さらには隣接する小学校様と敷地を共有した「学童農園」も見どころのひとつで、一般的に敬遠されがちな「発電やごみ処理施設」において日常的に教育と連携している現場とその距離感に驚かれることでしょう。

第二段階については、2027年の開業を目指し2024年度から試掘調査を開始し2026年に工事着工を予定しております。北中城村EMユニバーサルビレッジへの、みなさまのご来訪をスタッフ一同心待ちにして準備を着々と進めております。

